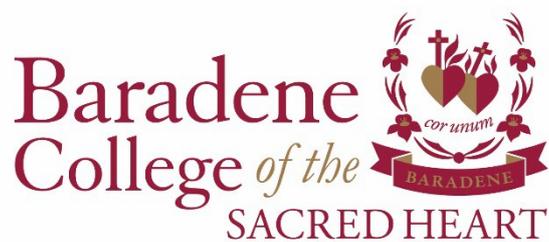




INTERNATIONAL STUDENTS ORIENTATION HANDBOOK



目次

ようこそ.....	2
BARADENE COLLEGE の目標	3
聖心の5つの目標	4
第1章： 学校情報.....	6
学校の詳細+地図	6
誰に相談すればいいですか?	7
鐘の時間と毎日のミーティング	10
ホームルームクラス	11
コース	11
重要なお知らせと学期の日程.....	12
休暇と旅行計画	15
期待される行動	15
健康・安全情報	16
第2章 - 学校生活	21
姉妹プログラム	21
学校のアクティビティに関わる	21
学校の制服の規則	22
第3章： 総合案内.....	23
ニュージーランドの学習スタイル	23
一般教科情報	23
その他の特筆事項	24
よくある質問	25
第4章： ニュージーランドでの体験	28
異文化適応.....	28
ニュージーランドの文化	29
学校で使用される言葉	30
KIWI 英語で使われる日常的な単語	31
第5章： その他の情報	32
緊急事態の対応	32
個人的な要望については、国際部長またはホームステイコーディネーターに連絡先を尋ねてください。	32
コンピュータ/サイバーセキュリティ利用規約	34

ようこそ

世界各地から生徒たちが集まる、活気に満ちた学習環境へようこそ。ニュージーランドでは、さまざまな国から来た人たちと一緒に生活し、学ぶこととなります。私たちは、皆さんが新しい友情とたくさんの良い思い出を持って、この学校を去っていくと確信しています。

あなたは教育において、また第二言語としての英語学習において、重要な一歩を踏み出そうとしています。ここでは、学習目標を達成するために必要なあらゆる支援やサポートが受けられます。

あなたが Baradene College のホームステイファミリーに滞在する際には、しっかりとサポートされ、特別なニュージーランドの家族の一員として多くの機会が与えられることと思います。

できるだけ英語を使いましょう。英語を読んだり聞いたりするのはです。英語で考えましょう！スポーツやカルチャーイベントに行き、Baradene College が提供する数多い機会を活用してください。



Mrs Pasley
学長



Mrs Storer
ホームステイ・コーディネーター



Mrs Meredith
留学生マネジャー



あなたの国際学部長 MRS SYDENHAM があなたをサポートします。彼女は指導、規律、カリキュラム（科目）に関することを担当しています。学校のことわからないことや心配なことがある場合に、真っ先に相談できる人です。

BARADENE COLLEGE は心躍る場所です！

BARADENE COLLEGE の目標

Baradene College of the Sacred Heart は、聖心女子学院の国際的なネットワークに属しています。

イエス・キリストは、私たちの存在や行動の中核をなす存在です。本学院は、教育という観点から、カトリック教会の使命を共有し、祈りと聖体拝領を中心とした信仰共同体の体験を生徒に提供しています。

聖心女子学院のすべての学校は、子ども全体を対象に全人格的な教育を行うことを信条としています。聖心教育の目標と基準は全校に共通するもので、思いやりと識別力を持ち、祈りの大切さを理解し、世界に心を開き、自分の居場所に自信を持った若い女性の卒業生を見たい、という願いが反映されています。

創立者である Madeleine Sophie Barat は、私たちが行動する観照者になるようにと奨励しています。

“It is the fine and sensitive tact of the soul in recognizing in herself the operations of God so that she may give herself over to them. But at least we must unite solitude to the work we do and counter this whirlwind with a deep cavern where the soul can take refuge as often as possible” .

聖心の5つの目標

5つの目標が示され、それぞれにいくつかの基準が与えられています。これは、学校がその地域の状況に適した具体的な目標を策定するための枠組みを提供するものです。

目標1：神に対する個人的かつ積極的な信仰

信仰によって、喜び、悲しみ、葛藤、決断、選択など、人生の中で神を認識することができるようになります。信仰によって、自分の人生や私たちの世界の意味が、イエスという人物の中で最大限に示されていることを確信することでしょう。信仰によってあなたは希望と自信を持ち、何者も神の愛からあなたを引き離すことはできないと知るでしょう。Baradeneには、神の恵みの神秘を祝う特別な日があります。聖体の典礼は、人間となって私たちの間に住まれた神の偉大な愛を讃えるものです。この愛の象徴は、他者への寛容さ、歓迎、そして無制限な領域であり、キリストの御心なのです。様々な祈りの体験を通して、祈りの在り方を見出せるでしょう。自分の生活や教育の理想を通して語られる神の言葉に耳を傾けることで、「あなたの神と謙虚に歩む (walk humbly with your God)」べく導かれることを学ぶのです。



*"Christian education is the first and most important means that the Society uses to honour the divine heart of Jesus. It will make the reign of the heart of Jesus flower in the world."
St Madeleine Sophie Barat rscJ*



"We must open not only the doors, but the windows of our souls to the truth."

Mabel Digby rscJ

目標2：知的価値への深い理解

あなたの批判的な思考や判断能力が重視されます。何をするのか、なぜするのかを明確にすることは、教育において不可欠な要素です。様々な思考様式や考え方への理解を深めることができます。情報に精通し、思考する、感性豊かな人間になるために必須となる想像力や創造力が引き出されるでしょう。学習は教室の中だけでなく、あらゆる人間関係、あらゆる経験の中で行われます。

目標3：キリスト教的価値としてのコミュニティの構築

聖心女子学院に入学するという事は、家族の一員となり、家に来るということを意味します。イエスはしばしば「家」という概念を使われました。信奉者たちに“Make your home in me, as I make mine in you”と言われました。聖心女子学院に入学することで、皆さんは家族の一員になったのです。学校にいるすべての人を、感謝の気持ちを持って受け入れましょう。彼らから、そして彼らとともに、愛とは何かを学ぶことができるのです。与えること、受け取ることを通して、聖心の家に浸透している思いやりのある雰囲気を育むことができます。



"We wish to build communion together, in trust, friendship, forgiveness, sharing; we wish to open ourselves to be challenged by others ..."

Society of the Sacred Heart

目標 4 : 行動を促す社会意識



"God takes delight in a heart that has grown deep by humility and wide by charity."

Madéleine Sophie Barat rscj

神を中心とし、正義と愛のために行動することが、あなた方の答えとなります。本物の愛は、常に奉仕という形をとります。不正に悩み、暴力と恐怖に苛まれる世界で、あなたは最も傷つき、困窮している人の側に立たなければなりません。聖心の学校では、神の国を正すための小さな一歩と大きな一歩を踏み出すことを学びます。社会的、道徳的な問題に関する知識を身につけることができます。しかし、不正を知るだけでは十分ではありません。飢えた人々のために食料を集め、高齢者とともに働き、年少者を指導し、病人を慰めるなど、困っている人々に直接手を差し伸べる機会が与えられます。13年生のリーダー、スタッフ、クラスメイト、先生といったすべての人に感謝しましょう。日々を共にするすべての人に、感謝の気持ちを持ち、気配りをしましょう。人々や出来事の中で、神はあなたに語りかけているのです。大切なのは、あなたが“child of the Sacred Heart”であり、常に神に認められる存在であるということです。この名前は、あなたが学校のネットワークの一部であり、すべての大陸にいる聖心の生徒と結ばれていることを思い出させるものです。

目標 5 : 知的自由な雰囲気の中で自己を成長させる



"For no one can educate by maxim and precept; it is the life lived, and the things loved and the ideals believed in, by which we tell, one upon another."

Janet Erskine Stuart, RSCJ

大人や仲間に助けられながら、自分の才能と限界に現実的に向き合うことで、自分に自信を持つことができるようになります。誰もがリーダーではなく、誰もがアスリートではなく、誰もがアーティストではありません。神があなたに与えなかった才能を嘆くのではなく、他の人の価値を認めて喜びなさい。自分の才能を発見し、独自の潜在能力を開花させましょう。人の感情に対して敏感であるなら、人を思いやりましょう。あなたが研究者肌であるなら、学ぶことの素晴らしさを伝えてください。自分の手で作り出すことができるのなら、世界に美を与えましょう。自分の人生にユーモアや笑いを見出したら、他の人にも喜びを与えてあげましょう。“The gift you have received, give as a gift”. 聖心女子学院の教育の意図は、人全体を対象にしています。ありのままの自分を受け入れ、大きな愛に見守られるのです。その目的は、自分に聖なる愛を注ぎ、より正直になるよう努め、誠実な道を歩むように導くことです。自己管理能力の向上を通じて、自分の選択や 行動の結果を受け入れる方法を学びます。ある時は自分の望みを拒み、ある時は他人の意見に左右されず、神の目の前で自分自身と向き合って自由に行動してください。

第1章： 学校情報

学校の詳細＋地図

学校の電話番号： (+64 - 9) 524 6019

FAX 番号： (+64 - 9) 522 4077

郵便住所： Private Bag 28 906, Remuera, Auckland 1541

実際の住所： 237 Victoria Avenue, Remuera, Auckland 1050

開校時間： 午前 8:00～午後 5:00



誰に相談すればいいですか？

シニアリーダーシップチーム：

学長：	Mrs Alex Russell	
指導・学習担当部門責任者	Mrs Woods	
学生支援部門責任者	Mrs Bray	
管理部門責任者	Mrs Hurring	
アセスメント部門責任者	Mrs Boasman	
宣教部長	Mrs Everitt	

サポートしてくれる人たち：

留学生担当学部長	Mrs Sydenham	D304 号室	
学部長	Mrs Mohottige	7 年生	
	Mrs Spora	8 年生	
	Mrs Reilly	9 年生	
	Mrs Arndt	10 年生	

	Mrs Recordon	11 年生	
	Mrs Smyth	12 年生	
	Mrs Gillies	13 年生	
スクールカウンセラー	Ms Jane	D201 号室	
	Miss Knight	D201 号室	
留学生調整役	Mrs Meredith	D304 号室	
ホームステイコーディネーター	Mrs Storer	D307 号室	

国際学部長は：

- 担任の先生が対応できない場合の、学校に関するあらゆることでの連絡先です。
- ご両親・保護者の方と Baradene College の橋渡しをします。
- 科目選択のお手伝いをします。
- あなたの学習内容に関心を持ち、定期的に保護者に進捗状況を伝えます。
- 利用できるすべての支援施設の利用を推奨します。
- あなたの出席状況を確認します。
- 生徒の不適切な行動について調べ、適切な措置を取ります。

学年の学部長

各学年にはそれぞれ担当の学部長がいます。彼女はあなたをホームルームクラスに配属し、時間割の編成をサポートしてくれます。

私の学年の学部長の名前は：

また、コースや個人的な問題についてアドバイスが必要な場合は、ガイダンスカウンセラー、キャリアアドバイザー、ナース、レセプション、スポーツコーディネーター、音楽ディレクターに相談することができます。各学部長が適切な担当者を紹介してくれます。

スクールナース



体調が悪いときや学校で事故に遭ったときは、スクールナースに相談してください。授業担当の先生からのメモを保健室へ持っていきます。スクールナースはあなたが病気や怪我をしたことを国際学部長に伝えます。また、必要に応じて、ナースはあなたの親やホームステイ先に連絡し、家につれて帰るように連絡します。

重要

- 在学中は、携帯電話で親やホームステイ先に連絡しないでください。
- 保健室に行く前に学校から出ないでください。
- 看護師があなたのご両親やホームステイ先に連絡し、その後、国際学部長にその旨を伝えます。

健康保険

すべての留学生は、高額な医療や病院での治療費をまかなうために、健康保険に加入する必要があります。

情報は、オンラインで入手するか、留学生担当者にお問い合わせください。



MRS EVERITT

学校の聖職者

私たちの聖職者および宣教部長の役割は、当校の学生に対して精神的なサポートと育成を提供することです。

ガイダンスカウンセラー

ガイダンスカウンセラーは Duchesne の 2 階にいます。困ったことがあれば、何でも相談してください。友人との問題、ホームステイ先との問題、あるいは自国の友人や家族との問題などがあるでしょう。問題に大きすぎる・小さすぎるということはありません。あなたの話を聞いて、助けてくれます。あなたが求めない限り、あなたの問題を他の人に話すことはありません。予約のためのガイドラインは、カウンセラーのオフィスのドアに貼ってあります。

キャリア・コースに関するアドバイス

キャリアアドバイザーのオフィスは Duchesne Building の D333 です。特に 13 年生の生徒はキャリアアドバイザーの元を訪れ、大学進学のために必要な科目や希望するキャリアについて相談しましょう。また、コースへの応募時期や応募書類の入手先もここで確認できます。年間を通じて、多くの大学や高等教育機関が担当者を派遣して説明会を開いたり、また教育機関を訪問できるオープンデーを開催したりしています。ぜひ参加してみましょう。

翻訳/通訳

翻訳や通訳に手助けが必要な場合。国際学部長の元に行けば、翻訳家や通訳の人を見つけるお手伝いをしてくれるでしょう。

緊急電話番号

Mrs Russell 027 406 3375
Mrs Storer 027 279 0917
Mrs Meredith 021 204 9152

重要

学校が、ご両親や保護者の方の連絡先を常に正しく把握できるようにしておかなければなりません。もし、その中に英語を話す人がいない場合は、英語とあなたの母国語を話す友人の連絡先を留學生担当者に伝えなければなりません。

鐘の時間と毎日のミーティング

ホームルーム	午前 8:35～午前 8:55	20 分間
1 時間目	午前 8:55～午前 9:55	1 時間
2 時間目	午前 9:55～午前 10:55	1 時間
モーニングティー	午前 10:55～午前 11:20	25 分間
3 時間目	午前 11:20～午後 12:20	1 時間
4 時間目	午後 12:20～午後 1:20	1 時間
お昼ご飯	午後 1:20～午後 2:10	50 分間
5 時間目	午後 2:10～午後 3:10	1 時間

留學生ミーティング：

水曜午前 8 時 35 分～8 時 55 分：体育館に集合。
このミーティングは重要なものです。

ホームルームクラス

ホームルームクラスは毎朝、点呼や毎日のお知らせを聞くために集まります。このグループは担任教師によって指導されます。この先生は、1年間同じグループにいるので、あなたのことをよく理解できるようになります。あなたが友達を作り、学校で楽しく過ごせるようにしてくれるでしょう。また、アドバイスや手助けをしてくれる存在でもあります。

私のホームルームの教室は：

.....

私のホームルームの先生の名前は：

ホームルームの集合場所は：

.....

コース

INTERMEDIATE (7・8年生) のクラスは、一日中、一つのホームルームで行われます。

JUNIOR CLASSES (9・10年生) は、いくつかのクラスが合同になります。例：社会科、宗教科、英語、体育。他の教科も同じ学年の生徒と一緒になので、同学年の生徒と知り合うことができ、友達の輪が広がります。

SENIOR CLASSES (11～13年生) では、カリキュラム・ブックレットから選択した科目をもとに、個別のプログラムを受講することになります。履修計画を立てる際には、自分の履修科目が次年度以降に充実したコースを提供し、自分の望むキャリアにつながるかどうかを確認する必要があります。

授業の理解度に問題がある場合は、まず担当の先生に相談してください。ニュージーランドでは、先生と話すことが求められます。国際部長は、あなたがコース変更を希望する場合、必ず担当の先生と相談します。

科目の変更を希望する場合は、国際学部長と面談しなければなりません。授業が忙しくなる前の最初の数週間で行う必要があります。クラスの人数や時間割の都合上、科目の変更ができない場合もありますが、可能な限り最適な時間割が組めるようサポートします。

国際学部長とは TEAMS を通して相談することができます。

2026 年の学期と休暇

1 学期	1 月 29 日	4 月 2 日
2 学期	4 月 20 日	6 月 27 日
3 学期	7 月 20 日	9 月 25 日
4 学期	10 月 12 日	12 月 4 日
休暇 など	オークランド記念日	1 月 26 日
	ワイタングィ・デー	2 月 6 日
	サマータイム終了	4 月 5 日 時計を 1 時間遅らせましょう
	イースター	グッド・フライデー: 4 月 3 日 金曜日、イースター・サンデー: 4 月 5 日 日曜日、イースター・マンデー: 4 月 6 日 月曜日。イースター・チューズデー: 4 月 7 日 火曜日。
	ANZAC の日	4 月 27 日
	君主公式誕生日	6 月 1 日
	マタリキ	7 月 10 日
	サマータイム開始	9 月 27 日 時計を 1 時間進めましょう
	レイバー・デー	10 月 26 日

重要なお知らせと学期の日程

遅刻

学校に遅刻した場合は、レセプションで手続きを行ってください。頻繁に遅刻する場合は、居残り授業を行います。授業は午前 8 時 55 分から始まりますが、午前 8 時 35 分までにはホームルームに入りましょう。

欠席

- 生徒は、正式な休暇証がない限り、日中カレッジを離れることは許可されません。

LEAVE PASS

もし医者や歯科医の予約がある場合、または学校の時間内に学校を離れる必要がある場合は、Leave Pass が必要です。ホームステイ先の世話人、エージェント、または親が Parent portal にログインして学校を離れる理由を学校に連絡するか、attendance@baradene.school.nz にメールを送った後のみ、Leave Pass が渡されます。外

出す際には、レセプションに「Leave Pass」を持って行き、外出時にオフィスでサインアウトし、帰校時にサインインすることになります。

欠席

病気で学校を欠席する場合。ホームステイ先の世話人、エージェント、または親が Parent portal にログインして休むこと学校に連絡するか、attendance@baradene.school.nz にメールを送る必要があります。

TRUANCY

理由なく欠席した場合、無断欠席となり、担任または学年主任が国際部長へ連絡します。この時間は、学校の授業時間外に補習しなければなりません。あなたの欠席についてはご両親に連絡が行きます。欠席が続く場合は、学長に、その後教育委員会に持ち込まれることとなります。あなたとあなたの両親（またはその代理人）は、あなたの主張を委員会に提出します。弁護士も臨席することができます。最終的には、理事会がニュージーランド移民局に通知し、滞在許可を取り消し、帰国を要請することになります。

すべてのクラスに出席し、すべてのコースワークを修了することが、国家資格の取得条件となっています。許可なく休むと、国家試験を受けることができなくなる可能性があります。

有給の仕事

Baradene College は、留学生がアルバイトすることを推奨していません。目標を達成するために、生徒は勉強に集中するべきです。しかし、ニュージーランドの学生ビザの規定では、12年生と13年生の留学生は、1週間に20時間まで働くことが許可されています。

就労を希望するすべての生徒は、自分の留学生ビザで就労が許可されていることを確認する必要があります。ビザに就労不可と記載されている場合、ニュージーランド移民局に Application for Variation of Conditions (NZIS) を記入し、両親と学校からの就労許可の書類を提出することで、就労許可を得ることが可能です。この手続きは、あなたの代理人や親が行うこともできます。

Baradene College が就労を許可する前に、あなたの学習記録が考慮されることをあらかじめお知らせします。

ニュージーランドでの運転

推奨されていませんが、やむを得ず運転する必要がある場合は、学部長に相談してください。

紛失物

すべての落とし物はフロントオフィスに持参してください。落とし物はフロントオフィスで確認し、受け取ることができます。

私物

すべての個人の持ち物には、明確かつ永続的に名前を付け、常に安全な場所に保管するようにしてください。施錠可能なロッカーは、リクエストに応じて利用できます。ロックは自分で用意してください。スタッフは私物の安全に万全を期していますが、中には不誠実な人もいるかもしれないので、注意が必要です。盗用防止のために、良識ある行動をお願いします。盗難にあった疑いがある場合は、できるだけ早くシニアリーダーシップチームのメンバーに報告してください。

デジタルカメラやその他の電子機器は、学習プログラムに必要な場合を除き、教室内での使用が禁止されていますのでご注意ください。それ以外の場合は没収され、放課後に国際学部長から回収することができます。



注) 学校内での写真機材の使用は、個人情報保護法の定めるところにより、許可を得る必要があります。

自分の持ち物を守る

大金を持ち歩いたり、学校に持ち込んだりしないでください。他人の見ているところでお金を数えないでください。ATM やお店で暗証番号を入力するときは、他の人に見られないように注意してください。学校に持ってきていいお金の上限は10ドルです。



携帯電話

携帯電話には、学校やホームステイ先の重要な連絡先を必ず入力しておきましょう。携帯電話を学校に持参する場合は、使用してはいけません。もし教師があなたが携帯電話を使っているのを見た場合、携帯電話は没収されます。没収された携帯電話は、放課後に各学年の学部長から回収することができます。



退出

家族の緊急事態やその他の理由で学期中に学校を離れる必要がある場合、事前に学長の許可を得る必要があります。早退を希望する理由を説明した手紙を学長の元に持参する必要があります。通常、早期の休暇取得は認められません。この場合も、学長からの書面による許可が必要です。

学期中の欠席は、出席記録に「EXPLAINED but UNJUSTIFIED」として記録されますのでご注意ください。

休暇と旅行計画



休暇中にホームステイ先を離れて旅行する場合は、学校に計画を伝え、必要な学校の申請書に記入しなければなりません。学校は、あなたがどこにいるのかを常に把握しておく必要があります。

休暇計画申請書は、各学期ごとに TEAMS で共有されます。各休暇の計画を把握するために、必ず申請書を提出してください。ニュージーランドに滞在する場合でも、必ず申請書を記入してください。

期待される行動

総合的に期待されるのは、生徒一人ひとりが他者の尊厳と学習の機会を侵害しないよう行動することです。Baradene College では、他者を尊重することが基本的なガイドラインとして重視されています。あらゆる形のいじめにも、毅然とした態度で対応します。

いかなる生徒も、他の生徒の学習を妨げてはなりません。

Baradene College は、学業面で高い期待を寄せられています。

当校の物理的な環境、建物、敷地を尊重してください。

学校の評判を落とすような行動や、他の生徒の教育や学習に影響を与えるような行動は許されず、次のような結果につながる可能性があります：

居残り

お昼休みの居残り - “A Detention”

軽度の違反をした場合、昼休みに居残りをさせられることがあります。これは、水曜日の昼休みに D221 で学部長によって行われます。これはあなたの記録に残ります「A」の居残りに参加しない場合、自動的に「B」の居残りとなります。



放課後の居残り - “B Detention”

深刻な軽度の違反に対しては、学部長や シニアリーダーシップチームが放課後 1 時間の居残りを課す場合があります。このような居残りをする場合は、事前に保護者に通知されます。



喫煙、飲酒、薬物使用

生徒は、制服着用中、学校敷地内、外部の競技イベント、または学校を代表している間は、喫煙、アルコール飲料の摂取、違法薬物の使用を禁じられています。

このような違反をした場合、懲罰やカウンセリングを受けることになります。

また、薬物に関する違法行為についても、厳正に対処します。



いじめ、人種差別、性的嫌がらせ

次の場合の対処：

- 学校で誰かがあなたを傷つけたり、怖がらせたり、脅したり、あなたがしたくないことをさせようとした場合。
- 学校の誰かに、あなたの人種や国籍を理由に何かを言われる、書かれる。
- 学校の誰かに、あなたが女性であることを尊重していないようなことを言われる、書かれる。

留学生担当学部長に報告しましょう。

自分の身に起こったこと、言われたこと、書かれたことを伝えてください。

あなたの訴えは、秘密厳守で真摯に取り扱われます。

あなたが相談した相手は、問題を解決すべく努めるか、カウンセラーやシニアリーダーシップチームのメンバーに問題解決の手助けを依頼することになります。

**学校コミュニティの中で一人ひとりを尊重することは
BARADENE COLLEGE の特徴の一つです。**

健康・安全情報

医師

病気にかかった場合でも緊急ではない場合、最初にかかるべき医師は GP (General Practitioner) と呼ばれ、個人開業医や救急外来にいる医師です。



病院に行くのは重病の場合のみです。医師がさらなる治療が必要だと判断した場合、専門医の診察を受けることになります。医療に関する相談はすべて機密事項です。つまりあなたの許可がなければ、他の誰もあなたの情報にアクセスできません。

歯医者



歯をきれいに、健康に保つためには、少なくとも年に1回は歯科医院に通うことが大切です。

薬物

NZ では、特定の薬物や植物を所持、購入、使用、販売することは違法とされています。いかなる場合でも、薬物に関連した行為に関与してはいけません。NZ 滞在中は、NZ の法律に従って行動をする必要があり、多額の罰金や実刑判決を受ける可能性があります。

以下で、違法薬物とその俗称を紹介します。:

ヘロイン : Smack

コカイン : Coke、Crack

アンフェタミン : Speed、Meth

エクスタシー : E

大麻 : Marijuana、Pot、Dope、Weed、Dak、Kronic

純アンフェタミン : P

“P” の製造に使用されることが判明しているため、一部の一般的な風邪薬の国内への輸入は違法とされています。

飲酒



NZ では、18 未満の飲酒は法律違反です。飲酒するのであれば、分別を持って飲まなければなりません。食事中に飲み物を飲み、特に一度にパーティーポッパーなどのアルコール飲料を過剰に摂取しないようにしてください。そのようなことをすると、危険な状態に陥る可能性があります。

安全と健康

スクールナース

体調が悪いときは、スクールナースに相談してください。あなたの体調を診て、助けてくれます。彼女は、あなたが帰宅しなければならないかもしれないことを学部長に報告します。

急な病気



体調が悪くて教室を出たいときは、先生に聞いてから保健室に行きます。Baradene College には、予期せぬ体調不良の生徒のための保健室があります。Duchesne の 2 回にある Deans' corridor の D213 号室です。

事故に遭い、スタッフが怪我の手当てをできない場合は、救急車や医師を呼ぶ手配をします。すべての事故は、スクールナースに報告しなければいけません。

保護者の承認なしに、痛み止めの薬を服用させることはありません。

病院



病院には公立と私立があります。病院での治療には保険が適用されるでしょう。最寄りの病院は、Grafton Road にある Auckland Public Hospital です。全病院では通訳サービスが実施されています。

火事



火災が発生した場合は、最寄りの火災警報器のガラスを割り、学校のオフィスに通知してください。

重要：

学校で火事起きた場合、次のことを理解してください：

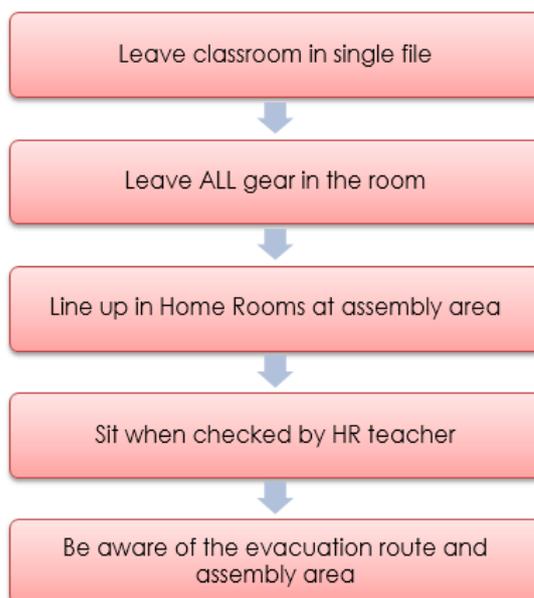
シグナル：連続的なベルの音。

行動：即座にすべての建物から非難する。落ち着いて静かに歩くこと。

集合場所：Astroturf テニスコート

避難の手順

避難手順のフォルダーは、各教室の壁に掲示されています。



留学生のための苦情処理手続き

（苦情とは、学校で起きていること（教室の内外での出来事）に強い不満を抱いている場合のことです）。

学校の友達とのトラブル：

担任の先生に問題事について相談する、または
国際学部長に相談する、または
学校のカウンセラーに相談する、
自分の学年の学部長に相談する。

教師とのトラブル：

担任の先生に問題事について相談します。
問題事が担任の先生との間にある場合、国際学部長に相談してください。

数日経っても担任の先生や国際学部長によって問題が解決されない場合は、Administration Building にいるシニアリーダーシップチームのメンバーに相談します。

もし数日後も問題が解決しない場合は、校長先生に相談してください。

ホームステイ先とのトラブル：

滞在先の責任者であるホームステイコーディネーターを訪ねてください。

それでも問題が解決されず、満足できない場合は、International Education Appeal Authority に連絡することができます。

IEAA Tribunals Unit
Level 1, 86 Custom House Quay
Private Bag
32001 Panama
Street Wellington 6146

電話番号 + 64 4 462 6660
FAX + 64 4 462 6686
メール ieaa@justice.govt.nz
ウェブサイト www.justice.govt.nz

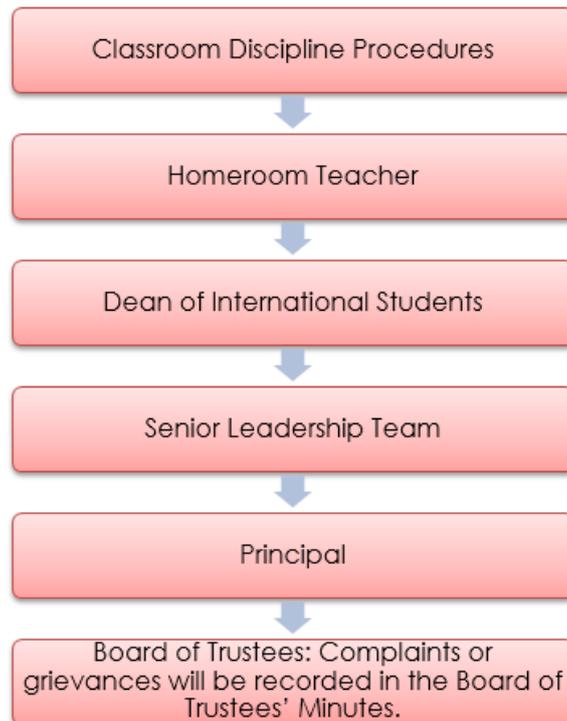
IEAA に連絡する前に、学校に働きかけたことを証明できなければなりません。何かできることがないか、学校に相談してくれます。

もし問題が発生した場合は、問題が小さいうちに相談してください。問題が大きくなるまで我慢しないでください。もし、自分の英語力に自信がない場合は、英語の上手な友人を伴うこともできます。これは重要なことです！

BARADENE COLLEGE での滞在が

素晴らしいものになりますように！

留学生のための苦情処理手続き



第2章 - 学校生活

姉妹プログラム

外国で留学生として新しい学校に行き、異なる言語を話さなければならず、友人や家族といった普段のサポートがない状態での生活は、しばしば圧倒され、混乱し、ストレスのかかる体験のように感じられるかもしれません。

Baradene では、本校への移行ができるだけスムーズで、楽しく、ストレスのないものになれば、学習や新しい環境に順応し、学業成績、課外活動への参加、Kiwi 生との友達作り、Baradene コミュニティへの全体的な帰属意識に大きな違いをもたらすことができると考えています。

すべての新入留学生は、可能であれば自分の言語を話し、すでに学校に馴染んでいる既存の留学生とペアになります。これはとても重要なことで、自分の母国語で質問したり悩みを打ち明けたりする機会を、その悩みを理解し、親身になってアドバイスや手助けをしてくれる人に与えることができるからです。

すべての新入留学生は、ホームルームでキウイの生徒とパディを組み、教室でのサポートや学校内の案内をしてもらいます。

学校のアクティビティに関わる

Baradene College では、スポーツ、音楽、文化など、さまざまなアクティビティが行われています。留学生担当学部長と相談してください。

Baradene College で提供されるアクティビティの中で、あなたが以前通っていた学校で参加していたものはどれですか？

Baradene College に在学中、どのようなスポーツや、アクティビティ、グループに参加したいですか？

今年試してみたいアクティビティを2つ選びましょう。この下に記録してください。

参加したい活動が決まったら、毎日のお知らせをよく聞いてください。オーディション、トライアル、申し込みなどに関する重要な情報が得られます。

スポーツと音楽のパンフレットは、国際学部長にお尋ねください。

学校の制服の規則

私たちの学校では、すべての生徒が学校内や公共の場で、きちんとした身だしなみを保つことを期待しています。

1. 制服は正しく着用してください。また、衣服はきちんと手入れされ、わかりやすくラベルが貼られていなければなりません。
2. 7年生から10年生は、スカートの長さが正しいことを確認してください。
3. 制服を着ている時は、メイクをしてはいけません。

髪形

1. 髪は自然な色で、顔にかからないように整えること。スクールカラーの髪留めやヘアバンドで留めることができます。髪色のヘアクリップを必ず着用してください。
2. 特別な機会のための髪型は事前に書面で申請し、学長の許可を得なければなりません。

アクセサリー

1. 時計、宗教的・文化的な意味を持つネックレス、必要に応じて両耳の耳たぶに金または銀のプレーンなスタッド1つずつといったアイテムのみを着用すること。
2. 宗教的・文化的な意味を持つアクセサリー類は、特定の活動の際に外すよう求められることがあることを理解した上で、着用してもかまいません。
3. このようなアイテムの着用は、保護者からの書面による情報提供により、学生支援部門責任者が許可を与えます。許可された場合、このような許可は書面にて与えられます。

バッジ

学校及び寮のバッジはブレザーに付けること。

路上や交通機関では

1. すべての生徒は、学校から特別な指示がない限り、夏服・冬服ともに学校のブレザーを着用することが義務付けられています。
2. スポーツの練習や試合から帰る生徒は、スポーツ用の全天候型トレーニングスーツ、または一日中着用できるユニフォームのどちらかを着用していなければなりません。



学校行事

ブレザーを含む正しい制服を着用すること。

第3章： 総合案内

ニュージーランドの学習スタイル

Baradene College、他の学校、そしてニュージーランドの大学では、おそらく自国とは非常に異なる学習スタイルを体験することになるでしょう。あなたが適応し、学習で成功するためには、学校が学習に関して何を重要視しているかを知ることが重要です。

授業への参加：生徒は、先生やクラスメイトに質問する、また自分の考えをグループやクラス全員の前で話し合うことが期待されています。

クリティカルシンキング：情報を分析・評価し、自分の考えを発表する能力を養う必要があります。すべてのレベルにおいて、リサーチが必要です。

先生との関係：先生との関係は、自国でのものほど堅苦しくなく、先生に質問することが失礼に当たらないどころか、むしろ推奨されています。

自主性を持つ：自習時間を設定し、宿題を自主的に行わなくてははいけません。他の人の作品や書いたものをそのまま写してはいけません。これは剽窃と呼ばれ、“cheating（不正行為）”とみなされます。

コメントや情報をどこから入手したかを明記しなければいけません。

一般教科情報

教科書



学生は学校の図書館から教科書を借り、使用后、学年の途中または終了時に必ず返却しなければなりません。教科書を購入したい場合は、教科の先生に購入方法を聞いてください。

文房具



各コースに適した文房具を使用する必要があります。紙の切れ端や小さな本の場合、紛失してしまいます。パソコンで文房具のリストにアクセスします。必要なものはすべて購入し、ワークブックやフォルダーにはすべて名前を書いて、紛失しないようにしましょう。一部の人はあなたのように誠実ではない可能性があるため、電卓、電子辞書、ipad、iphoneなどの高価なものをバッグに入れたまま放置しないように注意する必要があります。



すべての生徒には宿題を書き込むスクールダイアリーが配られます。また、すべての授業で新たに出てきた単語を書き込む単語帳を持ち歩くことが求められています。

学校の文房具についてのサポートは、Mrs Storerにご相談ください。

TWINK (修正液・修正ペン)

学校の規則で TWINK の使用は禁止されています。これは、NZQA の試験方針に賛同してのものです。

その他の特筆事項

時間を守る



ニュージーランドでは、予約の時間を守ることが重要です。遅刻した場合、予約を逃すことがあり、再度予約を取らなければなりません。

整列

人々はきちんと列に並んで待ちます。購買、お店、銀行、バス、トイレ、場合によっては映画やショーなどでも順番を待たなければなりません。

値切り

お店での根切りはまったく一般的ではありません。通常値札にある価格を支払います。価格には15%の物品サービス税 (GST) が含まれています。

就寝時間



多くの人は午前 6:30 から午前 7:00 の間に起床し、午後 9:30 から午後 10:30 ごろ就寝します。午後 9:00 以降誰かに電話をするのは不適切です。週末は夜更かしし、遅い時間に起きる人が多いです。

家事



ニュージーランドでは、男性と女性が家事を分担する傾向があります。家族と同居している場合は、家事の手伝いを申し出るとよいでしょう。ベッドメイキングや部屋の整理整頓をするようにしましょう。ホームステイ先からも家事を任されるでしょう。

食事



朝食は、シリアルとヨーグルト、またはトーストにハチミツやジャムを添えて食べるのが一般的です。ポーチドエッグやスクランブルエッグが好きな人もいます。昼食は、通常正午 12:00 から午後 2:00 の間の決まった時間に食べるようになります。昼食にはさまざまな種類の食べ物が食べられますが、サンドイッチが最も人気です。夕食は“Tea”とも呼ばれますが、通常午後 6:00 から午後 8:00 の間に食べられ、これが一日で一番しっかりとした食事です。各家庭は異なり、あなたのホームステイ先でも食事の時間が異なる場合があります。

ペット



ペットは大切な家族の一員であり、そのように扱わなくてははいけません。ペットが屋内で寝るのはごく普通のことです。敬意をもって接してください。どんな状況でも、自分でペットを購入してはいけません。

喫煙 / 電子タバコ



Baradene の生徒として、喫煙は許可されていません。お店、劇場、多くのレストランやパブは禁煙です。18 歳未満の場合、タバコを買うことはできません。タバコに手を出さないでください！

水道水



ニュージーランドでは、水道水は安全に飲むことができます。日中、定期的に水を飲むことで、注意力を維持し、学習能力を高めることができます。

よくある質問

英語プログラムを通じて身につけられる、ニュージーランドの大学に入学するための文学的な前提条件を達成するために必要なスキルは何ですか？

読解、作文、会話、聴解のスキルです。

IELTS や TOEFL、TOEIC を受験することはできますか？

当校では IELTS のクラスは実施していませんが、あなたをサポートできる人々と連絡を取るお手伝いができます。詳細については、留学生担当学部長までお問合せください。

当校では、NCEA や NZ の資格局のコースを中心に扱っています。

どのように評価されますか？

すべてのコースで、生徒はすべてのクラス活動に全面的に参加し、すべての実技および筆記による評価、課題、試験を完了することが要求されます。

定期的な評価がコースの重要な部分を占めています。これらの評価は科目によって異なり、どんな評価が求められるかは、各科目の開始時に教師から通知されます。

Baradene College では、課題を提出しないという選択肢はありません。遅れた場合でも、提出しなければなりません。

学内試験はありますか？

あなたは年に一度、学内試験を受けます：9年生、10年生、11年生：11月。12年生と13年生：9月（期末試験に向けた模擬試験）。

成績表はどのくらいの頻度で送られますか？

成績表は本人と家族に発行され、国際学部長が、皆さんが留学生生活をより充実したものにできるよう相談に乗ってくれます。

全レベルの1学期の終わりに行われる中間報告では、あなたの努力と姿勢が示されます。

7年生から10年生の学生は、2学期と4学期の終わりに報告書を受け取ります。11年生、12年生、13年生の学生は、3学期の終わりに報告書を受け取り、4学期にはNCEA ユニットスタンダードおよび達成レベルの情報を含む詳細なNCEA 成績表を受け取ります。

私の家族は成績表のコピーを受け取りますか？

はい、そしてあなた自身も受け取ります。一部の保護者やエージェントが要求する場合があります。ご両親は、Parent Portal を通して、あなたの成績表にアクセスすることができます。

保護者面談はありますか？

保護者・生徒面接には、親、エージェント、保護者、ホストファミリーの誰かと一緒に来ることが推奨されています。親が面接時に通訳を希望する場合は、国際学部長に知らせる必要があります。

宿題は毎日出ますか？

宿題は定期的に出されます。期限までに終わらせて、要求された時に先生に提出することが求められます。

自分で時間を管理し、勉強する習慣を身につけることが大切です。決まった宿題とは別に、その日に習ったことを見直す時間も必要です。

自分の部屋に宿題の計画表を作り、ホームステイ先の家族と話し合うことが期待されます。

勉強にはノートを取ることも必要なため、そのために費やす時間を過小評価してはならないことは覚えてください。スポーツや趣味、自分の時間も確保できるよう、1日のスケジュール表を作成してみてくださいはいかがでしょうか。



コンピュータラボやその他の教室は、昼休みと放課後に開放されることがあり、課題に取り組むための機器を使用することができます。先生に確認して、部屋を使えるかどうかを確認してください。また、自分の担当科目でチュートリアルが行われる際には、耳を傾けてください。

問題がある場合、または体調が悪く、時間内に課題を終わらせられないことが分かっている場合はどうすればいいですか？

担当の先生に課題の正式な延長を申請しなければいけません。学校に戻る際には、国際学部長へのメモと、3日以上学校を休む場合には診断書を持参することを忘れないでください。これらの書類のコピーは、あなたのレベルのディーンに渡されます。

どうすればパソコンにログインできますか？

ログインコードを受け取る前に、署名する ICT フォームを渡されます。

どうすれば学生証を入手できますか？

学生証は入学後間もなく発行されます。入学2日目にそのための写真撮影を行います。

学校の図書館から本を借りる際や、公共交通機関で学生運賃を利用する際には、IDカードが必要です。



第4章： ニュージーランドでの体験

異文化適応

新しい国に移住すると、普通、変化や適応の時期を経験します。

到着すると、空気、水、食べ物、言葉、家、人など、ほとんどすべてのものが唐突に変わってしまいます。旅や、家族や友人との別れからの疲れもあるでしょう。

変化にワクワクすることもあるでしょうが、そのワクワク感は、しばらくするとホームシックや孤独感に変わることもあります。

これを**カルチャーショック**と呼び、時間が経つと次第に慣れていきます。

ホストファミリーの誰か、自分より長く滞在している留学生、お気に入りの先生、国際部長など、理解してくれる人に相談すると良いでしょう。

新しいことに挑戦し、心を開き、コンフォートゾーンから抜け出して、できるだけ他の人と交わるようにしましょう。

**注意事項：Baradene College での時間は
あなた自身が作るものです！**



ニュージーランドの文化

私たちは、一般的に礼儀正しく、フレンドリーな人々の国です。ニュージーランド人（キーウィ）は、必要な時にはたいてい助けてくれます。

初対面の人とは、目を合わせて話すように心がけましょう。握手を求めてくる人もいるので、怖がらずに握手してください。

ホストファミリーには毎朝挨拶をするのが礼儀です。知っている人と会った場合は、ほほ笑んで「Hello」や「Hi」と言いましょう。

わからないことがあれば、質問しましょう。恥ずかしい思いをさせられることはありません。“I don't understand. Can you please say it again?”

使いましょう：必要に応じて please、thank you、sorry または excuse me (pardon) を使うのは礼儀です。

ニュージーランドでは、通常、Yes は「はい」、No は「いいえ」を意味します。

先生の名前を忘れた場合は、女性の場合は「Miss」、男性の場合は「Sir」と呼んでください。私たちは通常、先生を「teacher」とは呼びません。

言語

ニュージーランドには3つの公用語があります - 英語、マオリ語、ニュージーランド手話。英語は最も一般的に話されており、ニュージーランドアクセントにもすぐに慣れるでしょう！通常、特に質問した場合、みんなはあなたと話してくれます。ただし一部、他国から来た人に対して失礼な態度を取る人もいます。そういう人は無視しましょう。簡単なことではないことはわかっています。

次のようにして Kiwi に協力しましょう：

できるだけはっきりと話す

もっとゆっくり話してくださいとお願いする

間違えることを恐れない

できるだけ多くの会話に参加することで、より流暢に話せるようになります。

Te Reo Māori はニュージーランドのもう一つの公用語です。次に、意味を調べられる言葉をいくつか示します：

アオテアロア	<i>Pākehā</i>
haere mai	whānau
tena koe	pōwhiri
kia ora	whare
marae	iwi
kura	kaiako
akomanga	Whare karakia

英語は変化する言語であり、ニュージーランドでは辞書には載っていないものの学校で使用される単語や名称があります。ここでは、最初に戸惑うかもしれない言葉をいくつか紹介します。

学校で使用される言葉

学校で使用される言葉	意味 - 教師、Kiwi Sister やホームステイファミリーに聞きましょう。
options	Subjects you can choose
periods	
late book	
P. E.	
gear	
study	
tuckshop	
homeroom teacher	
truancy	
detention	
assembly/liturgy/mass	
interval	
roll call	
runner	
lunchtime detention	
after school detention	

KIWI 英語で使われる日常的な単語

KIWI 英語で使われる日常的な単語	意味 - 家族やホームステイファミリーに聞きましょう。
bach	
broke	
caregiver	
cop	
dairy	
Giddy	
guys	
haere mai	
haere ra/e noho ra	
hang on a minute	
here you are	
here you go	
Hi	
hooray	
how' s it going	
Polynesian	
kia ora	
Kiwi	鳥、ニュージーランド人、NZ ラグビーリーグ代表
<i>Pākehā</i>	
pudding	
see you later	
shout	ご馳走する / 誰かに飲み物や食べ物をおごる
there you go	
tough	
whanau	family

第5章： その他の情報

緊急事態の対応

個人的な要望については、国際部長またはホームステイコーディネーターに連絡先を尋ねてください。

ニュージーランド警察



ニュージーランドは、世界的に見ても安全で遵法精神に富んだ社会です。警察は銃を携帯しません。ニュージーランドでは、警察は一般的に有益だと考えられており、男性と女性の両方で構成されています。

警察は、刑法と交通法の両方を執行します。彼らは捜索や救助などの任務をこなします。また、コミュニティプログラムも運営しています。

緊急時のみ

警察に連絡する場合は、111 にかけます

111 は、救急車や消防士などの緊急サービスを受ける際にも利用されています。緊急性がなく、緊急サービスを必要としないものを通報する場合、または誰も怪我をしておらず、危険がない状態で犯罪を通報したい場合は、105 をダイヤルしてください。

ニュージーランド滞在中は、常に警察に協力し、正しい情報を提供する必要があります。

彼らはあなたを助け、守るためにいるのです。滞在中は、ニュージーランドの法律に従わなければなりません。



注釈：

コンピュータ/サイバーセキュリティ利用規約



生徒名 : _____

I understand that:

- My computer username and password are private and are not to be shared with other students. I will not reveal home addresses or phone numbers, mine or anyone else's, in cyberspace.
- Computers and other ICT equipment that belong to Baradene College are intended for educational purposes and I will treat all equipment with respect. Any other ICT equipment that I use within the school environment (e.g. mobile phone, own laptop) will be used for learning purposes as directed by my teacher.
- Any videoing, photos or voice recording will be for learning purposes as directed by my teacher. I will ask those I wish to film, photograph or record for their permission before I do so.
- When using the Internet, I must not go looking for rude or offensive sites. If I accidentally encounter inappropriate, dangerous or illegal material I will immediately remove it from the screen/turn off the screen and notify a supervising teacher without disclosing the material to any other student.
- When using the email facilities at school, it is my responsibility to ensure that all electronic correspondence will not cause offence or be otherwise inappropriate.
- ICT must not be used for harassment, bullying, plagiarism, exam cheating etc. I will use any educational accounts responsibly and follow the 'Acceptable Use' Agreements on these accounts.
- I will report offensive and inappropriate activities to my parents or my Dean immediately.
- The school reserves the right to check at any time, work or data related to ICT in the school environment.
- Students are not to use the Baradene name, named staff, or crest for social media post without prior permission.

Breaching this agreement (or any involvement in such a breach) may result in my access to the ICT resources at Baradene College being withdrawn, which could make me ineligible to continue studying a particular subject. I also understand it could result in disciplinary action by the school.

Student's Name: _____ Signed: _____

Parents or Guardian:

General use of computing/communication technology resources:

I have read the Computing/Cybersafety Use Agreement. I believe my child has read the document and understands her obligations. I understand that the ICT resources at Baradene College are designed for educational purposes and that any breach of the rules and conditions as set out in this agreement can lead to loss of privileges or disciplinary action. I understand if my daughter loses or damages equipment this could result in a bill for the cost of replacement parts or repairs. I also understand this agreement applies to ICT equipment my daughter brings into Baradene College.

Access to cyberspace:

I understand that it may not be possible for the school to fully restrict exposure to inappropriate material in cyberspace, accessed through such means as the Internet, email or text messaging. I also understand that while the College will take appropriate measures to limit access to illegal, dangerous or inappropriate material, ultimately it is each student's responsibility not to initiate access to, or have any involvement with such material.

For more information on how you can help your daughter use ICT in a safe and responsible manner visit <http://www.netsafe.org.nz>.

Permission to Publish

Under the Privacy Act 1993 we are required to seek your permission to publish information related to your daughter, including images and samples of her work. Baradene's website, newsletters and school magazine contain images of students and examples of their work to celebrate achievement, promote community and to give students examples of good practice. We therefore undertake to ensure that no unnecessary or inappropriate details are published.

I hereby give permission for my daughter to be given access to computing and ICT equipment and for images of her to be published by the school.

Parent signature: _____ (Parent/Guardian) Date: _____